

□□□□、□□のイラクにあったバビロンで、□□は□を□み□しました。その□□から□まる□□□が、□□の□□の□□によって、□□に□する□□□があります。しかし、□の□□□□□the king's highway□には、□に□□がつきまといいます。「□がそれをやったのか□」という□□です。

すべては、およそ□□□□、メソポタミア□□□のイラク□の□□に□ちた□□バビロンで□まりました。□□のメソポタミアは、さまざまな□□や□えのるつぼでした。ちょうど□のニューヨークや19□□のパリのように、ある□の「なんでもあり」といった□□が□っていたのです。そして□□に、すべてはそこで□を□したのです……。□□のイラクは、かつての□□の□□□です。その□□□□の□□れな□□が、□□の□□□□□の□□である「□□のビッグバン」を□き□こしました。

ある□、□が□めたときに「きっと□よりもっと□くなる」と□じることは□にでもあるでしょう。しかし、□たちは□□の□□に□を□めているのか、□□にわかっているのでしょうか□□が□□を□□させ、□□させてくれるのか、□□に□えるのでしょうか□□じ□□を□□バベルの□くの□々が□ち、その□□の□□が、□□の□□□□□□に□きな□□をもたらしたのです。

もともとバビロンの□々は、「□じ□□、□じ□□」□□□□□□□□1□□でした。しかし、□□が□□したこと、□々は2つの□□に□れることになりました。□つは、この□□からどんな□びを□られるかという□□へ□けて、この□□のあらゆることを□ぶ□□□□□□に□りました。もう□つは、□に□いを□ち、それを□げかけるとい□□□□□□でした。なぜ□びを□□するのか、なぜ□に□があるのか、なぜ□がいるのか、なぜ□しみがあるのか。そして、すべての「なぜ」の□には、□つの□□が□かんでいました。□がそんなことをしたのか□□という□□です。

□びを□□する□では、□□して□□□を□き、□□が□まりました。より□く□□するために□□を□らし、□□を□□させ、□びが□られる□□を□に□つけようとしてきました。しかし、□によって□え□が□なるため、□々は□□し、□□され、やがて□いに□ざかっていきしました。

□□□なビッグバンは、□や□□となっています。□ざかれば□ざかるほど、□々はさまざまな□□で□びを□□するようになりました。あるところでは、□□の□に□りを□げれば、□□は□□にしてくれて、□たちの□□□を□してくれと□じていました。□のところでは、□□の□に□れば、□□の□は□しくしてくれ、□のままに□えてくれると□じ、また□のところでは、□□する□はたった□つであり、その□に□□□しかけ、□いを□えてくれるように□□すれば、□しいものが□に□り、□せになれると□じていました。また、どちらの□□も□□ではなく、□むことを□□にやめるべきだとするところもありました。「□□を□とし、□□を□とし、□□を□なくし、□を□なくすべし」□『□□□□□』□です。やがて、□□な□□が□□な□□を□み□しました。それぞれの□□が□□の□□こそが、□も□われると□じているため、□する□は□□と□となり、□□の□びと□□を□かす□□となりました。

□□□にもわたって□っているうちに、□々は□□たちのやり□は、□せへの□ではないかもしれないと□づき□めました。□はそれぞれ□なるため、□□は□うものを□しめるのだと□づいたのです。そこで□□したのが□□□□です。□□□□は、□々が□なる□き□、□なる□え□、□なるイデオロギーを□せると□いう□で、□□に□□でした。

□□、□なくとも□たちが「□□□□」と□ぶところでは、□□である□り、□もが□を□えても、□っても□されます。□□の□いは、□では□もが、□びを□□する□のどんな□にも□□はないとわかっていることです。

これが、□□□□の□□です。□たち□□□は、□□たちの□せはもちろん、□の□□を□□するためには□□することは□もない、と□づき□めています。□どもたちの□せについては□うまでもありません。□□で、これまでになく□□にうつ□が□えているのもそのためです。□□の□□は、より□き□□への□□を□□せないでいるのです。

しかし、□□□□、□びの□□が□まったばかりの□、その□□□も□□されました。「□いの□」を□んだ□の□に、アブラム□□□アブラハムとして□られている□□□□という□□がいました。□の□□は□□□□□で、□□の□□は□□□□に□□□□に□き□がれていました。アブラムは□□を□え、□々が□に□いて□るための□□さな□□を□って□り□めました。

アブラムは、□□に□る□□を□□できませんでした。□□が□ったのだから、その□□などないと□□していたのです。□□や□いは□えず、ある□、ふと□ち□まって「□□を□□する□はいないのか」と□いかけました□ミドラッシュ・ラバ□Midrash Raba, □□□□□□□□。□くの□がこれを□いかけてきましたが、ここでは□べきれないある□□から、アブラムの□びには□えが□えられました。□はアブラムを□つめ、「□は□□を□□する□である」と□げられたのです□ミドラッシュ・ラバ□Midrash Raba, □□□□□□□□。

この□□を□けて、アブラムは□□を□え、□□アブラハムとなり、□びそのものではなく、□びを□える□とのふれあいを□える□しい□え□を□めました。アブラハムは、□びを□るためには、□□□□を□□する□□□□な□□を□り、□らそれに□たものになれば、□□□□に□□□□の□びが□られると□□しました。□たちの□□は、□しみたいと□うことではなく、その□を□ろうとしないことなのだ、と□ったのです。

アブラハムは、この□□から□□□□に、□える□と□ることで、□える□とふれあえるようにする□□□□を□□しました。アブラハムは、□える□が□□するのではなく、それはすべてのものを□□させる□□、すなわち□える□□であることを□えたのです。

アブラハムは、□せになって、□□した□□を□るための□を、□□が□っていることに□づく、□□の□□をどんどん□え□めました。しかし、□の□□□□なアプローチは□には□け□れられず、□とアブラハムは□□しました。その□□、□にアブラハムが□□□□に□ったことが□□で、アブラハムはバベルを□る□□□□になったのです。アブラハムは□から□れ、カナンに□かいました。この□は、□□に□されています。

それ□□、□□たちはアブラハムのメソッドを□□させていきました。□□によって□び□は□になりましたが、□□□□に□じものを□ってきました。16□□の□□□□なカバリストであるRabbi Chaim Vitalは、その□えは□□を□えても□に□じであり、その□も□□□□な□としては「カバラの□□」、すなわち「□□□□を□け□る□□」と□ばれている、と□しています。

□□では、これまでになく□くの□が、□□の□□□□な□□が□けていると□じています。□びを□□することが□□だとわかり、□□□□に□れ□てています。□々は、なぜ□□が□せになれないのかを□りたがって

いるのです。そのような□々のために、カバラの□□はもっともな□え、□の□えを□□します。カバラの□□は□□□□もの□、□□されるのを□っていました。そして□、□たち□がその□□を□けることができるよう、□□□に□てきたのです。

この□□を□いれば、□□した□□を□□し、□□いを□やし、□々がスキルを□□して、それを□□□のために□うことができます。これこそが□けている□□であり、□□□もの□□にもかかわらず、□たちを「□じ□□、□じ□□」にできる□□□なのです。これがあれば、□たちは□つの□□、□つの□□、□つの□□を□つようになります。そして、□□と□れ□れになることはないでしょう。

カバリスト マイケル・ライトマン